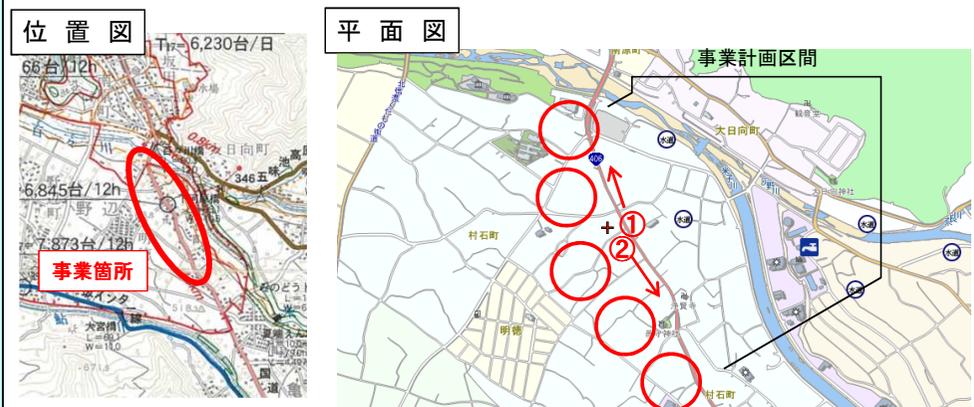


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)406号					
事業毎の通番		11	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	村石町(むらいしまち)				
事業概要	事業目的	当区間は、須坂市街地から菅平・上田市を結ぶ広域幹線道路であるが、須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当路線の整備について重要性が高まっている。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	須坂市都市計画マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：7,400台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	3.9	国庫	720,000	其他	432,000	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工L=1,500m、W=8.5(12.0)m			1,200,000	720,000		432,000	48,000	
年度事業内容(主な工種)										
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 36億円 災害に強い道路								
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進								
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス：須坂駅へのアクセス道路 ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(臥竜公園) ○地域の活性化：須坂市街地から菅平高原(スポーツ施設集積拠点)へのアクセス							評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：須坂市都市計画マスタープラン ○緊急輸送道路の路線指定：なし ○地域指定：積雪地域							評価	C
	効率性	○費用便益比(B/C)：3.9 ○事業期間：5年(H27～H31) ○工法等の比較検討：ルート比較検討を実施 ○他事業との連携：都市計画決定の変更に伴う機能強化(H26～)							評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：H24:1件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和：朝夕の局部的な現象を解消 ○歩道整備：通学路指定あり(高甫小学校) ○道路構造：現況幅員4.5m							評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：地元説明会実施(H23.9) ○地域の取り組み：協力的である(地元から改良要望書提出あり) ○地域の合意形成：事業目的について地元住民との合意形成が図られている ○住民との協働：なし							評価	C
	部意見	事業の必要性、効率性は高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。		行政改革課意見		必要性、緊急性が認められる。		評価結果	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号は、長野市から菅平を結ぶ主要幹線道路であり、本事業区間は市街地から菅平へ抜ける間の狭隘部分である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、住宅地が密集しており、車道・歩道ともに幅員が狭くなっている。また、通学路になっていることから、歩行者の保護が求められている。
③事業説明等の経緯	本事業区間は、地元住民への事業説明を実施しており、改良の要望がある。このため本事業区間も早期の事業化が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当路線の重要性が高まっている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地域住民の意向に沿った工法を検討している。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、地域住民の安全の確保も期待される。
⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用している。
事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 37' 54" 東経:E 138° 19' 23"